実世界とつながるブラウザ ~灯の次の展開~

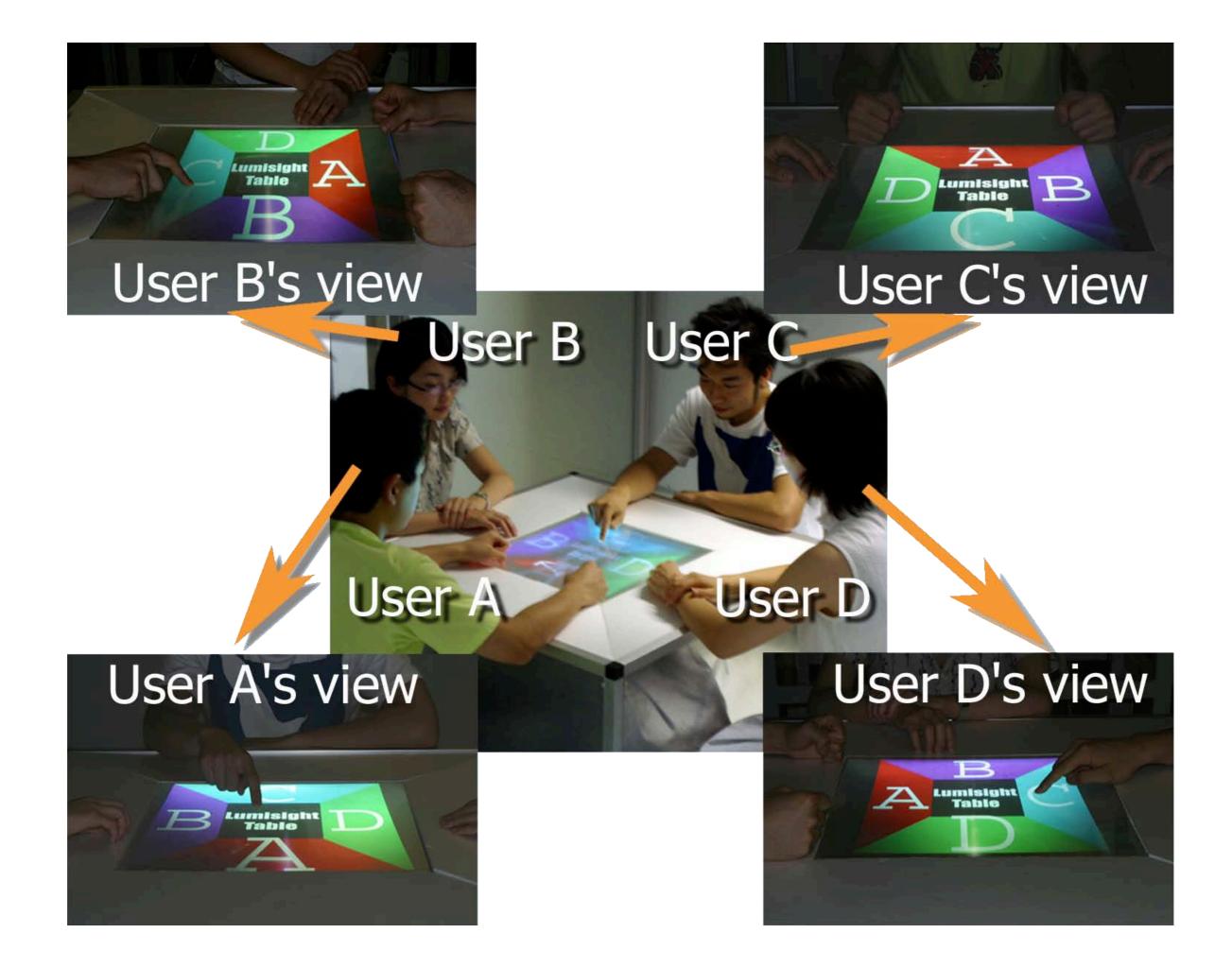
慶應義塾大学SFC 環境情報学部 筧 康明

実世界とデジタル世界

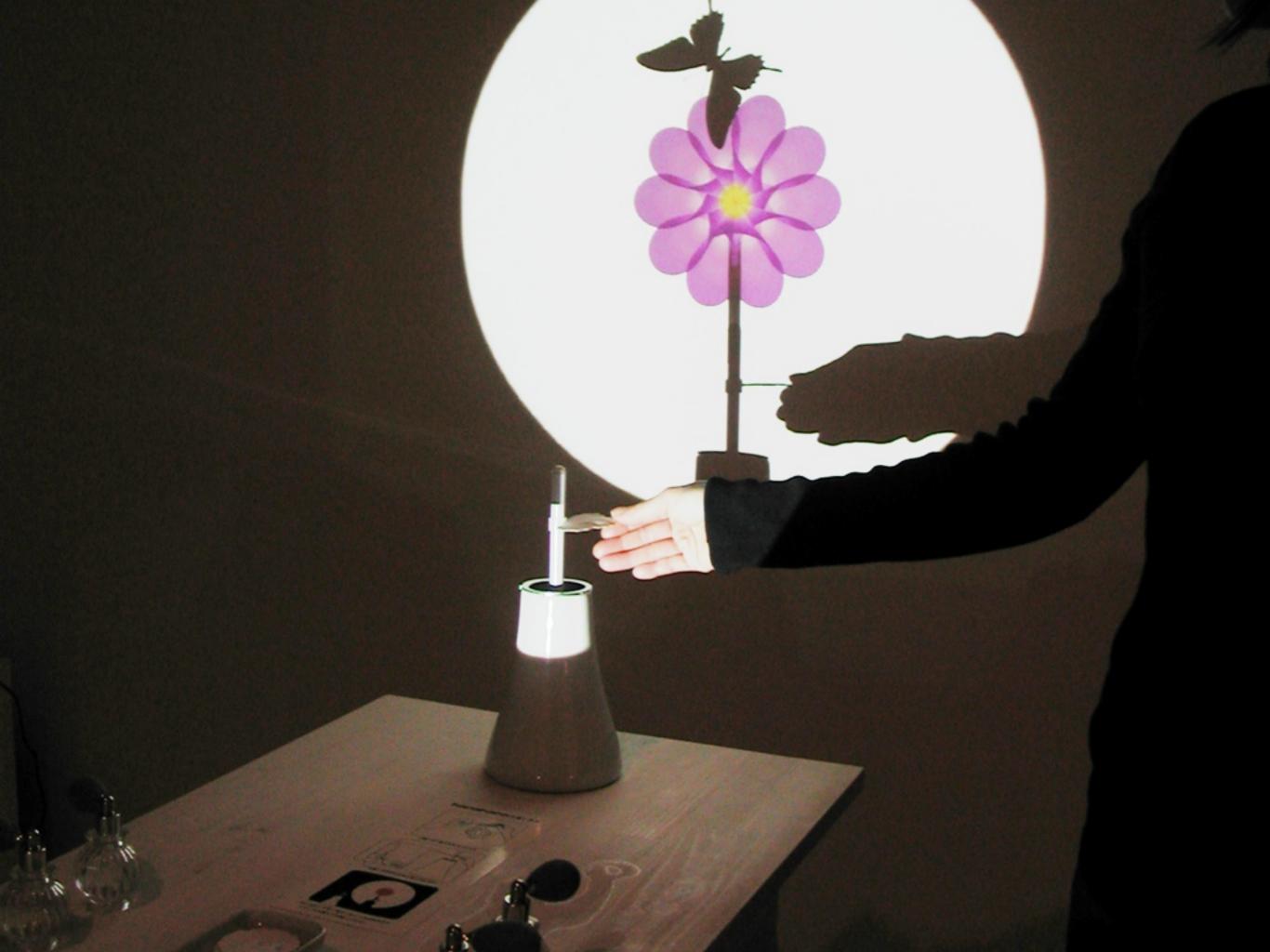
- 実世界空間とデジタル情報空間をつなげる インタフェースの必要性
 - Human

 ⇔ Computer

 ⇔ Real World
 - 直感性と汎用性を有するデバイスの提案
 - 自然なコミュニケーションのサポート







実世界とつながるブラザの可能性

人と情報をつなぐブラウザ

実世界とつながるブラザの可能性

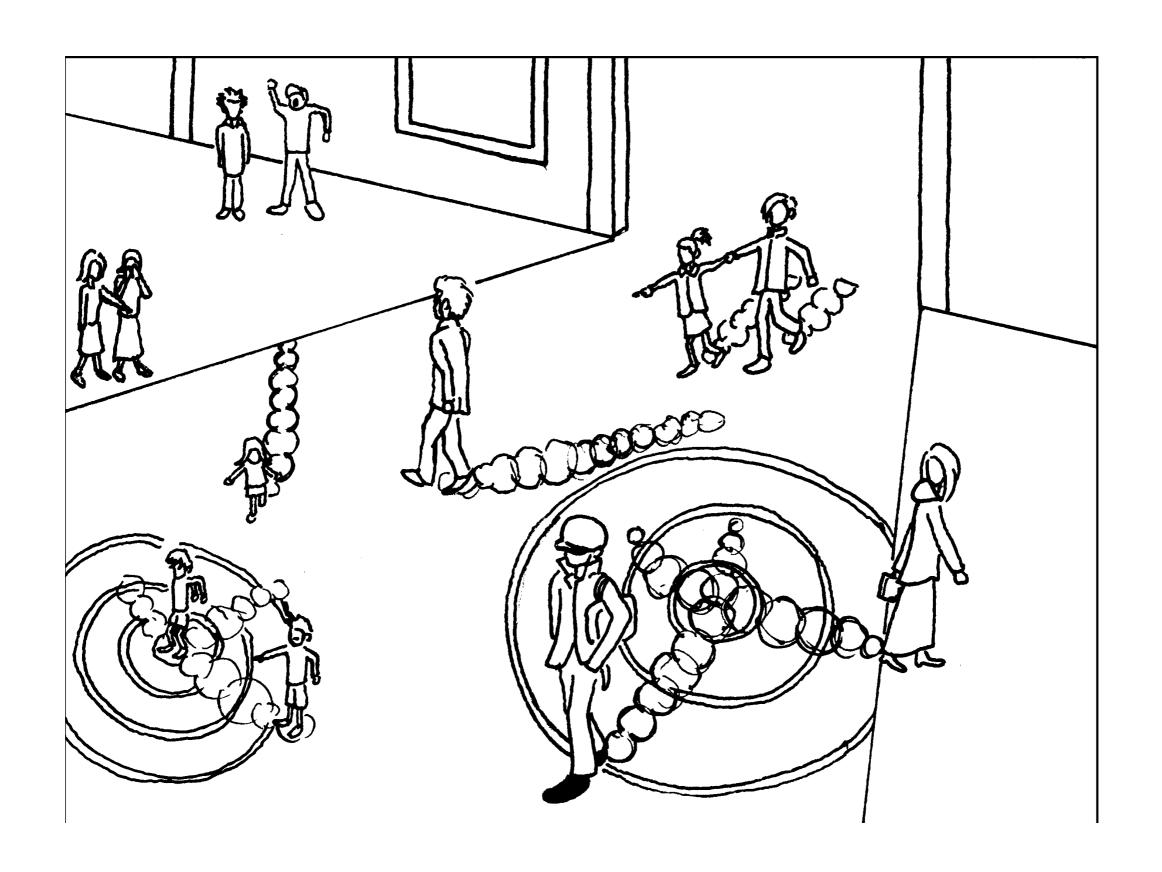
- 人と情報をつなぐブラウザ
- 人と人をつなぐブラウザ
- ・人と空間をつなぐブラウザ
- 人と時間をつなぐブラウザ

実世界指向インタラクション × ブラウザ

- コミュニケーションの場としてのウェブ、 コミュニケーションツールとしてのブラウザ
- 時空間メディアとしてのウェブ、時空間インタフェースとしてのブラウザ

人と人をつなぐ

- コミュニケーションツールとしての ブラウザの可能性
 - 他者の存在への気付き
 - ゆるやかのコミュニケーションの誘発
 - 見られること・見ることのサイクル



wakurawa

Webブラウザ



灯プロジェクト

慶應義塾大学SFC筧研究室 x Mozilla Japan

Firefox3の灯

~ウェブ環境の盛り上がりの視覚化~ http://tomoshibi.mozilla.jp/



灯の音× Firefox

筧 康明+あかつかだいすけ+橋田朋子+平山詩芳

灯の音

- Web環境→空間演出←実環境
 - 実世界の行為とWeb世界での行為の融合
 - Web環境で他者の存在や盛り上がりを提示する・意識させる
 - 実世界とWeb環境のゆるやかなインタラクション

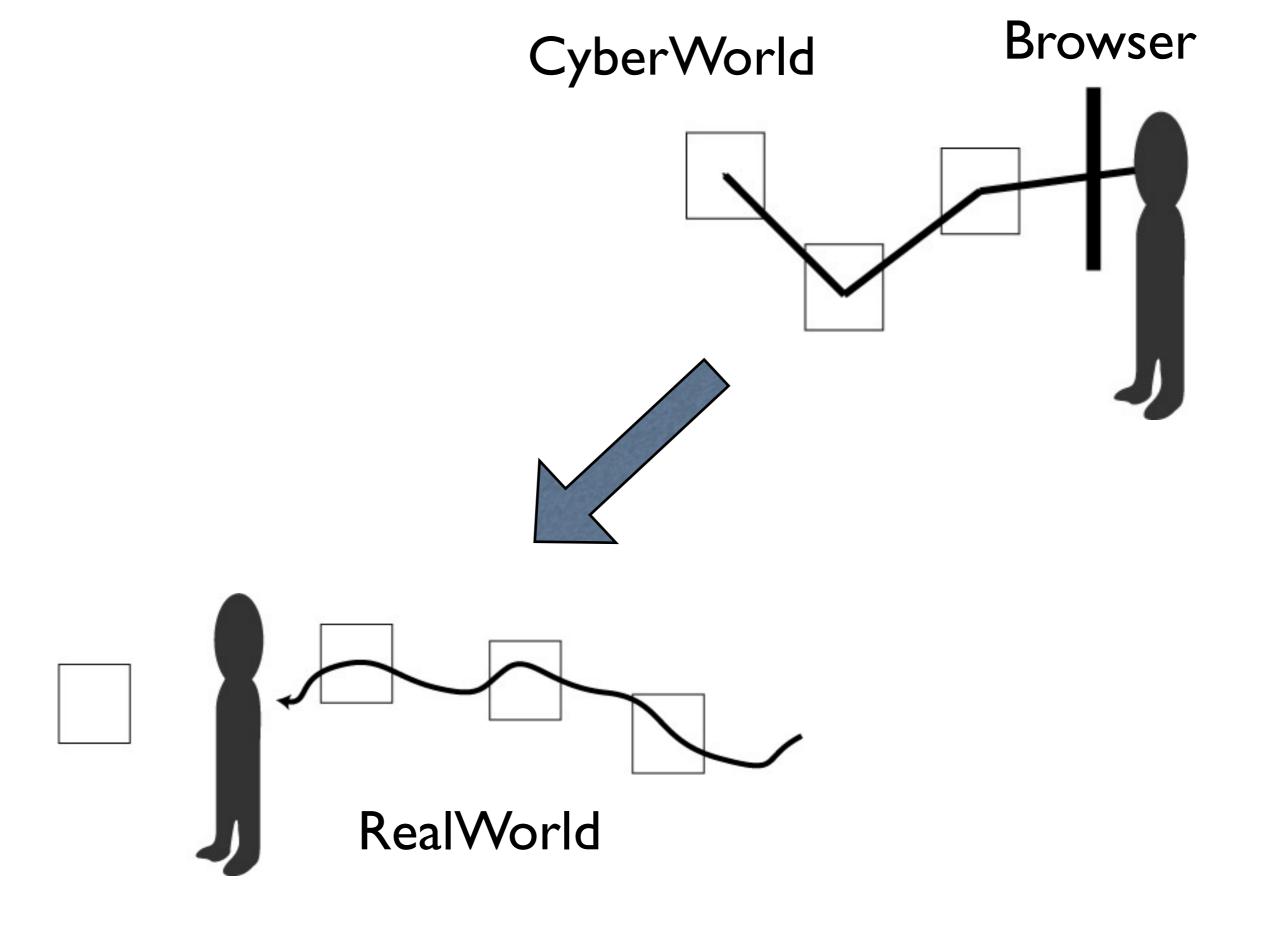




人と時空間をつなぐ

- ユーザ ⇔ HMD ⇔ 実世界
- ユーザ ⇔ ブラウザ ⇔ 実世界
 - ●場所によって異なる情報を提示
 - ●時間によって異なる情報を提示
 - ●ある場所に情報を発信
 - ●ある時間に情報を発信

人の移動や時間の経過が 情報のリンクを辿ることになる



siteskin

http://www.xlab.sfc.keio.ac.jp/projects/siteskin/



Tokyo



Paris



New York



まとめ

- ユーザ (実世界) とWeb世界をつなげ るインタフェースとしてブラウザを位置 づける
 - コミュニケーションツールとしてのブラウザの可能性
 - 時空間メディアとしてのウェブ、時空間インタフェースとしてのブラウザの可能性

Contact Info

 慶應義塾大学 環境情報学部 筧研究室 筧 康明(Yasuaki Kakehi) ykakehi@sfc.keio.ac.jp